

第66回全日本中学生通信陸上競技大会 ～アシックスチャレンジカップ～ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

【大会運営について】

- 蜜を避けるために8/1(1日目)を男子種目・8/2(2日目)を女子種目・9/22を1年生種目の実施とする。なお1日目は女子選手の観戦及び練習は禁止、2日目は男子選手の観戦及び練習は禁止とする。
- 大会は無観客とする。(保護者・応援生徒・付き添いの入場禁止)
- 生徒役員の配置はしない。
- 65歳以上の競技役員への委嘱は原則しない。
- 競技役員に医師を委嘱する。
- 競技役員は競技役員受付で当日の検温を申告する。
- 全ての大会関係者はマスクを着用する。但し、競技中の選手についてはマスクの着用はしなくても良い。また、熱中症を予防するためにも同じ
- 競技役員への水分補給は、各自で持参する。お弁当のお茶は提供する。
- 更衣室・雨天練習場は競技役員の控え場所とする。荷物の管理は各自で責任を持つこと。コインロッカーは使用可
- 競技場の換気をするために全ての窓は開放する。
- 大会関係者・選手が使用する各部屋やトイレなどはこまめに消毒をする。
- 雨天練習場の水道に石鹸を用意し選手、競技役員の手洗い場とする。
- 選手控え場所は、陸上競技場メインスタンド、陸上競技コンコース、芝生スタンド、第2陸上競技場、陸上競技場周辺木陰とする。必ずソーシャルディスタンスを保つこと。陸上競技場1階軒下に選手控え場所を設置することは禁止する。
- 記録の発表は、アナウンス及びWEBの大会速報のみとする。記録の掲示はしない。
- 選手は競技終了後、直ちに帰宅すること。
- 多くの選手が使用した用器具については消毒を行う。

【競技運営について】

- 選手は、競技開始時間の120分前にJAAF健康管理チェックシート(大会1週間前の検温と体調チェック)と大会出場承諾書(保護者の承諾と大会前日夜の検温・大会当日朝の検温)をTICに提出する。未提出者については参加することはできない。そのときに荷物入れ用のビニール袋を受け取る。
- 選手はTICでJAAF健康管理チェックシートと大会出場承諾書を提出し、受付プログラムに出場する意志を表示する(自分の名前に○印を付ける=招集完了とする)
- 招集係はTICからの情報で招集作業を行う。
- 選手は競技中以外はマスクを着用すること。
- 出場選手は、競技時間の15分前に下記の場所に集合する。(ソーシャルディスタンスを意識する)トラック競技はレーンナンバーを受け取り右腰に付けた後、出発係の指示で競技場に入場する。荷物はその場所に置いておく。選手の荷物の運搬は行わない。

◇100m・100mH・110mH・400mR 4走	第4ゲート外側
◇200m・3000m・400mR 3走	第3ゲート外側
◇1500m・400mR 2走	第2ゲート外側
◇400m・800m・400mR 1走	第1ゲート外側
◇走高跳	Aゾーン外側芝生スタンド前
◇棒高跳	バックスタンド聖火台下
◇走幅跳	メインスタンド雨天練習場
◇砲丸投	Bゾーン外側芝生スタンド前

- トラック競技でスターティングブロックを使用する種目に出場する選手は、設置前に主催者で用意したアルコール消毒液(ジェル)で手指をアルコール消毒する。
- 蜜を避けるため1500m・3000mの1組の人数は1500mは12名、3000mは18名(グループスタート)で行う
- トラック競技はレース終了後、レーンナンバーを外しかごに入れる。その後、第1ゲート付近に手洗い場所を用意するので洗顔・手洗いをしてスタート付近に戻り荷物を持ってベンチへ戻る。
- 走高跳・棒高跳は競技終了後、荷物を持って第1ゲート付近で洗顔・手洗い、走幅跳・砲丸投は雨天練習場で洗顔・手洗いをしてベンチに戻る。
- 棒高跳・砲丸投で使用する滑り止めは主催者では用意しないので各自で準備する。滑り止めを他人と共有はしない。
- 通常の表彰は行わない。8位入賞者は、アナウンスの結果やWEBの大会速報を見てTICにメダル、賞状等を取りに来る。
- 今回に限り全ての競技者に記録賞を配布するのでTICに取りに来ること。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止をすとお約束することは難しいと思われます。万が一新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、主催者としては責任を負うことはできない点をご了承ください。